※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	地学基礎　新訂版（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てる」小・中学校での理科の学習を終えて、人と自然について「宇宙における地球」、「変動する地球」という２つの視点を見ると、どのように見えてくるのか？どのように生き、行動すれば人と自然を大切にし、健康な生活を送れるのか？この２つの問題を常に意識して、学び考え続けてください。

２　学習の到達目標

多くの定時制生徒の実態を踏まえ、生徒が地学に興味関心を持つよう、できうる限り身近なテーマや現象を扱うことで、地学的な観点から自己の生活を見つめ、また考える人間になるよう留意する。起こりうる自然災害にどう対処するかを考えさせる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物・現象を一連の時間の流れのなかでとらえるなど、科学的な見方や考え方を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境に関する事物・現象の中の問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	地球の構成と運動	地球の形と大きさ 地球内部の構成 プレートの運動 火山と地震	○	○	○	○	a:地球の大きさと重力、地球の構造に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:プレート境界での巨大地震、活断層での直下型の地震のメカニズム、津波が成長する原理を考察し、導き出した考えを表現している。 c:地殻やマントルを構成する岩石標本の観察や測定を的確に行っている。 d:火山活動と地震の発生のしくみをプレート運動と関連付けて理解している。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録
後期	地球の変遷	地層と化石 古生物の変遷と地球環境	○	○	○	○	a:生命誕生から現在までの生物の進化の過程に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:堆積岩ができるしくみとその痕跡を考察し、導き出した考えを表現している。 c:生命誕生から現在までの生物の進化の過程について、化石の観察や資料収集などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:猿人からホモ・サピエンスまでの歴史を理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録

※令和３年度以前入学生用

後期	大気と海洋	大気の構造と運動 大気の大循環	○	○	○	○	a:大気の構造や状態に関心をもち、意欲的に探究しようとする。 b:地球規模の組織的な大気の流れについて考察し、導き出した考えを表現している。 c:大気中の水とその状態について、観察や資料収集などを行い、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 d:地球のエネルギー収支について理解し、知識を身につけている。	ノート、プリントの提出、記述 学習状況 定期考査 出席状況 観察・実験の記録

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。